

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月24日更新

事務事業名	合志市地域公共交通協議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	政策部	課長名	大茂 竜二
	施策	25	公共交通の充実			所属課	企画課	担当者名	鶴田 裕之
	施策の柱	68	公共交通の利便性の向上			所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11463	根拠法令 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 道路運送法	成果優先度評価結果	⑫	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成20年度に設置した合志市地域公共交通協議会(以下、協議会)を管理・運営する事業である。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会、道路運送法に基づく地域公共交通協議会および地域公共交通確保維持改善事業計画の実施に関する協議・調整役としての3つの目的を担っている。協議会の委員構成は、法律で定められており、市民代表、公共交通事業者、運輸支局、学識経験者等で運営している。
【業務の流れ】	協議会事務局としての機能を有し、協議会の開催や関係機関との調整を行なう。
【主な予算費目】	<small>報酬、旅費(費用弁償)</small> ※平成27年度については、合志市地域公共交通協議会(法定協議会)が事業実施主体となり、国庫補助金を受け、「公共交通明形成計画」を作成した。そのため事業実施主体である合志市地域公共交通協議会(法定協議会)へ負担金として支出するため11465合志市地域公共交通計画実施事業へ汎用し協議会へ負担金として支出した。よって平成27年度の決算額としては0円となる。(国庫補助金の対象事業には協議会開催に伴う報酬・旅費も該当するため、協議会の予算化を行った)
【意見や要望】	平成25年度実施の優先度評価会議において、この事業を11465合志市地域公共交通計画実施事業に統合することとなった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	協議会を3回、作業部会を3回開催した。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		協議会を4回、作業部会を4回予定している。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
⇒ア:協議会開催回数		協議会委員3名増えたための報酬、費用弁償の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市地域公共交通協議会	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		⇒ア:組織数
		⇒イ:件
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	円滑に運営できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		⇒ア:円滑に開催できなかった会議の割合
		⇒イ:%
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
協議会の円滑な運営を目的としているため、円滑な協議会開催ができなかった割合とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
①活動指標	ア	回	3	5	4	4	3	3	3	3	
	イ										
②対象指標	ア	件	1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ										
③成果指標	ア	%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	406		654	405	748	654	654	654
		(A)事業費計	千円	406	0	654	405	748	654	654	654
		(A)のうち指定経費	千円	248	0	400	244	459	400	400	400
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	3	4	1	3	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	265	618	50	220	500	500	500	500	
	(B)人件費計	千円	1,055	2,294	199	0	1,992	1,992	1,992	1,992	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,461	2,294	853	405	2,740	2,646	2,646	2,646	

事務事業名	合志市地域公共交通協議会運営事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 協議会、作業部会の開催が目標より円滑に協議が開催できたため、1回ずつ減らすことができた。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成29年度は協議会4回、作業部会4回を実施予定。円滑に協議会を開催することに努める。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 協議会の開催や運営を円滑に行うための事業であるので、向上余地はなく。なお、少人数での作業部会を開催し、さらに充実した議論や検討を行うことができた。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 協議会の開催については、他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 協議会委員の報酬と費用弁償のみであり、切手代についてもメール送信可能な委員には郵送は行っていない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 協議会の開催に係る必要最小限度の人員（時間）である。 また、法定協議会の運営であるため外部委託はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域公共交通活性化再生法および道路交通法に基づく法定協議会として、市全体の公共交通のあり方について検討や協議を行うため設置した組織であり、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域公共交通活性化再生法および道路交通法に基づく法定協議会であり、他団体では担えない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

会議の開催に向けた一連の手続きについては、円滑に行なうことができたと考えている。また、開催通知や資料の送付方法をメール送信したことにより、経費の節減も図ることができた。  
今後も利用者代表による作業部会の活用により、議論を活発化させる。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)  
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)  
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果  
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策